

提言2 「IPv4 over IPv6」の対応方式の表記方法

■背景

- ・ IPv4 over IPv6通信には複数の技術方式が有り（DS-Lite、MAP-E等）各VNE事業者が異なる技術方式を採用している。
- ・ ルーター提供事業者の提供するルーターは、ルーター毎、各技術方式に対応している。
- ・ ユーザーにとって契約中のインターネットプロバイダーの技術方式に対応したルーター選択時等で混乱する状況にある。

■課題

ユーザー向けのIPv4 over IPv6通信の対応方式の表記方法

■提言

「VNE社サービス名称」を対応可否上の標準表記とする（下記イメージ参照）

■主に協力をお願いしたい事業者

ルーター提供事業者

ホームページ等記載イメージ例

△△ルーター動作確認済みIPv4 over IPv6通信サービス

プロバイダ名称	△△ルーター対応 IPv4 over IPv6通信サービス		
	VNE-E社サービス名	VNE-F社サービス名	VNE-G社サービス名
ISP-A社	-	○	
ISP-B社	-	-	○
ISP-C社	○	-	-
ISP-D社	○	-	-

△△ルータースペック

機能	内容
□□□	□□□
IPoE (IPv4 over IPv6)	VNE-E社サービス名、 VNE-F社サービス名
□□□	□□□